

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2000-214066(P2000-214066A)

【公開日】平成12年8月4日(2000.8.4)

【出願番号】特願平11-14003

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 13/16

G 0 1 N 13/12

【F I】

G 0 1 N 37/00 F

G 0 1 N 37/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月5日(2005.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プローブ側に凸の傾斜面を少なくとも1面有する突出部を複数備え、該複数の突出部を、隣接する突出部の相対する傾斜面が成す角度がプローブの先端角度よりも狭角となるよう配置するプローブ劣化判定用試料と、
前記プローブ劣化判定用試料を走査して得られる測定データの高さ方向の高低差としきい値とを比較し、比較結果に基づいてプローブの劣化判定を行うプローブ劣化判定手段とを備えることを特徴とする走査型プローブ顕微鏡。

【請求項2】

プローブ側に凸の傾斜面を少なくとも1面有する突出部を複数備え、該複数の突出部を、隣接する突出部の相対する傾斜面が成す角度がプローブの先端角度よりも狭角となるよう配置するプローブ劣化判定用試料と、
前記プローブ劣化判定用試料を走査して得られる測定データの高さ方向の高低差としきい値とを比較し、比較結果に基づいてプローブの劣化判定を行うプローブ劣化判定手段とを備え、
プローブ劣化判定手段の判定結果に基づいて、ヘッドに取り付けるプローブの交換を行うことを特徴とする走査型プローブ顕微鏡。